

医療機関名	尾田胃腸科
-------	-------

許可病床数	19床(うち一般19床、療養0床)
-------	-------------------

### 1. 現状

・内視鏡治療を中心として、短期間の入院加療を中心に、一定の入院が必要な患者様の対応を行う。(中長期に渡る場合は転院となります。)

### 2. 地域において今後担うべき役割 (必須)

・慢性疾患や癌治療を中心に、かかりつけの患者様や地域の患者様の治療やアドバイスをを行う。

### 3. 具体的な計画 (必須)

#### (1) 病床機能ごとの病床数

##### ①平成 30 年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
①H30.7.1 時点	19	0	0	19	0	0	0	
②2025 年	19	0	0	19	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0		

(うち非稼働…H30.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

##### ②令和元年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
① R1.7.1 時点	19	0	0	19	0	0	0	
② 2025 年	19	0	0	19	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0	0	

(うち非稼働…R1.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

※令和元年(基準日)と2025年の病床機能が異なる場合(転換しようとする場合)には、その理由を記入してください。

{ }

#### (2) 診療科の見直し

①令和元年時点の診療科:内科・外科・消化器科・肛門科・循環器科・麻酔科

②令和元年時点と2025年で診療科の見直しがある場合は記入してください。

{ }

(3)平成 30 年の診療実績等

病床稼働率	20.5
平均在院日数	3.4

4. 特記事項

医療機関名	医療法人善哉会 山田クリニック
-------	-----------------

許可病床数	19床(うち一般15床、療養4床)
-------	-------------------

## 1. 現状

- 診療科として内科、神経内科、心療内科、呼吸器科、循環器科、消化器科、小児科、リハビリテーション科を標榜しています。
- 水俣市立総合医療センターの開放型病床でかかりつけ医として共同診療をしています。
- 平成23年4月から外来・病棟に電子カルテを導入し外来予約制を定着させ、クラーク、看護師が入力し医師は患者様と向き合って診察をしています。
- 届出状況
  - ・有床診療所入院基本料1(看護配置加算I、夜間看護配置加算2、看護補助加算1、看取り加算)
  - ・有床診療所療養病床入院基本料(療養環境加算、看取り加算)
  - ・有床診療所緩和ケア加算
  - ・入退院支援加算2、入院時支援加算
  - ・入院時食事療養1、入院時生活療養1
  - ・在宅復帰機能強化加算

## 2. 地域において今後担うべき役割 (必須)

- 医療法人善哉会は、前理事長の故山田 功が病床19床の有床診療所の山田クリニックと通所リハビリを母体として平成元年10月に設立し、平成15年9月に池田 晃章が継承し、居宅介護支援事業所、訪問リハビリ、サービス付き高齢者向け住宅「百楽苑」、通所介護、訪問介護事業所を追加して現在職員数79名(常勤換算66名)となりました。
- 外来、入院、往診等の在宅医療から介護まで地域に密着した温かい医療と介護を基本理念として実践しています。
- PT5名、OT3名、ST1名、合計9名体制で外来・入院リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリを実施して患者様、利用者様の運動機能、身体機能の改善のためリハビリ実施計画を作成し、多職種で評価してADLの改善を図ります。リハビリ実施により退院後安心して自宅・地域で社会生活ができるよう担当ケアマネとの連携も強化して情報を共有しています。
- 警察医、産業医として今後も継続して医療を通じて地域社会に貢献していきます。

**3. 具体的な計画** (必須)

(1) 病床機能ごとの病床数

① 平成 30 年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
①H30.7.1 時点	19	0	0	19	0	0	0	
②2025 年	19	0	0	19	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0		

(うち非稼働…H30.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

② 令和元年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
①R1.7.1 時点	19	0	0	19	0	0	0	
②2025 年	19	0	0	19	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0		

(うち非稼働…R1.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

※令和元年(基準日)と 2025 年の病床機能が異なる場合(転換しようとする場合)には、その理由を記入してください。

( )

(2) 診療科の見直し

① 令和元年時点の診療科:内科、神経内科、心療内科、呼吸器科、循環器科、消化器科、小児科、リハビリテーション科

② 令和元年時点と 2025 年で診療科の見直しがある場合は記入してください。

( ありません )

(3) 平成 30 年の診療実績等

病床稼働率	88.4
平均在院日数	28.9

**4. 特記事項**

○平成 16 年から水俣市民および外来患者様を対象に年間 3~4 回健康講話、健康体操を組み合わせ土曜日の午後 2:00~4:00 健康教室を実施しています。令和元年 11 月 9 日には第 60 回健康教室を開催しました。

医療機関名	深水医院
-------	------

許可病床数	18床(うち一般18床、療養0床)
-------	-------------------

## 1. 現状

昭和 12 年私の父(深水主)が小児科医院として開業し、昭和 53 年に長男(深水孟)が内科・消化器科を追加し医院を新築して開業、平成 3 年より私(院長)と妻の陽子(副院長)で医療法人として循環器・外科・麻酔科を追加して後を継いで現在に至っております。

(診療の現状)内科としては糖尿病・脂質異常症・肝疾患等の検査及び血糖コントロール及び投薬治療を主とし、循環器科としては高血圧・心臓疾患等の検査・投薬治療を、消化器科としては胃腸疾患の検査・投薬治療を、外科においては軽度の創傷処置、麻酔科においては疼痛外来の治療、小児科においては、小児一次医療を主として行っております。

また、高齢者で通院困難な患者様においては在宅医療(現在 8 名)も行っております。

保険診療以外では、地域の事業所の各種健康診断・産業医活動。医師会の事業で輪番制休日当番医・各種予防接種・学校医活動をおこなっております。

医療従事者の構成は、常勤医師 2 名、非常勤医師 1 名、非常勤検査技師 1 名、准看護師 8 名(内熊本地域糖尿病療養指導士 3 名)、調理員 3 名、事務員 4 名となっております。

そして当医院としましては画像診断・血液検査等で患者様の疾患の「早期発見・早期治療」を主眼として診療をおこなっております。

## 2. 地域において今後担うべき役割

今後も現状と同じく、病棟の活用としましては重症者においては内視鏡検査・超音波検査・血液検査等で早期に発見し、高度医療(MRI・CT・手術等)が行える病院と連携を行い、また投薬・点滴・食事等の生活指導で治療可能な急性期患者においては当医院で入院治療を行う、平均在院日数でも指し示していますように早期治療による早期退院を目指していきたいと思っております。また、今後高齢者が増加していきますので、終末期医療も含めた在宅医療にも重点をおいて、地域の「かかりつけ医」としての機能を強化していきたいと思っております。

**3. 具体的な計画** (必須)

(1) 病床機能ごとの病床数

① 平成 30 年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
①H30.7.1 時点	18	0	18	0	0	0	0	
②2025 年	18	0	18	0	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0		

(うち非稼働…H30.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

② 令和元年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
①R1.7.1 時点	18	0	18	0	0	0	0	
②2025 年	18	0	18	0	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0		

(うち非稼働…R1.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

※令和元年(基準日)と 2025 年の病床機能が異なる場合(転換しようとする場合)には、その理由を記入してください。

[ ]

(2) 診療科の見直し

① 令和元年時点の診療科: 内科・循環器科・消化器科・小児科・外科・麻酔科

② 令和元年時点と 2025 年で診療科の見直しがある場合は記入してください。

[ ]

(3) 平成 30 年の診療実績等

病床稼働率	62.1
平均在院日数	13.2

**4. 特記事項**

特にありません。

医療機関名	緒方眼科医院
-------	--------

許可病床数	16床(うち一般16床、療養0床)
-------	-------------------

## 1. 現状

- ・手術後入院患者がほぼ 100%です。
- ・葦北地域医療圏に眼科医療機関は4件。このうち手術可能施設3件ですが、入院可能施設は2件(葦北0・水俣2)です。医療センターと当院になります。
- 医療センターの入院手術受け入れ態勢はわかりませんが、当院を紹介受診するケースもあることから必ずしも充足していない現状かと考えます。
- ・また、当院の特徴としては葦北地域医療圏に加え北薩医療圏(出水郡市・阿久根・伊佐)からの手術受け入れが全体の4割近くになります。
- ・北薩地域にはそれぞれ開業眼科医療施設が1～2件ずつ存在しますが、いずれも入院施設を有せず、公的病院眼科で入院手術可能機関は地域全体で2件のみです。これらの公的病院からも手術紹介を受け付けている現状です。
- ・白内障手術は外来で！という風潮のある昨今ですが、外来手術ではリスクのある症例・高齢一人暮らし、交通へき地化し通院困難なケース。
- ・緑内障・網膜疾患など入院手術が原則となる手術もあります。
- ・都市部との状況の違いを考慮すべきが地域医療であると考えます。
- ・マンパワーの関係上、手術日を1回／週・入院期間2～3日としている関係で病床稼働率は 20%程度となります。
- ・術日後3日間の稼働率 60～65%(4床室(男女1室)×2室の割り振りで稼働率低下)
- ・経営だけを考えれば、無床・手術クリニック化してしまう方が楽なのかもしれませんが・・・

## 2. 地域において今後担うべき役割

- ・地域のニーズがある限り、努力する。

**3. 具体的な計画** (必須)

(1) 病床機能ごとの病床数

① 平成 30 年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
① H30.7.1 時点	16	0	16	0	0	0	0	
② 2025 年	16	0	16	0	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0		

(うち非稼働…H30.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

② 令和元年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
① R1.7.1 時点	16	0	16	0	0	0	0	
② 2025 年	16	0	16	0	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0		

(うち非稼働…R1.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

現状維持が原則であるが、複数医師の体制確保が困難になることが予想される。鋭意検討する。

※令和元年(基準日)と2025年の病床機能が異なる場合(転換しようとする場合)には、その理由を記入してください。

(2) 診療科の見直し

① 令和元年時点の診療科:眼科

② 令和元年時点と2025年で診療科の見直しがある場合は記入してください。

現在は考えていない。2025年にかかわらず、医師数増などにより診療科追加などは有り得ないことではない。

(3) 平成 30 年の診療実績等

病床稼働率	20.6
平均在院日数	2.9

**4. 特記事項**

医療機関名	てらさきクリニック
-------	-----------

許可病床数	16床(うち一般16床、療養0床)
-------	-------------------

### 1. 現状

- ① 泌尿器科専門医として、尿閉時の処置、腎盂腎炎・尿路結石の仙痛時の治療として急性期と前立腺癌末期の治療、前立腺生検(入院必要)等の入院治療
- ② 透析導入時の入院治療、シャント手術時の入院、透析後の状態悪化等の急性期と回復までの入院治療

### 2. 地域において今後担うべき役割 (必須)

今後も上記、継続する予定  
水俣市立総合医療センターと連携し、水俣市立総合医療センター退院後の回復期の入院患者受入れとしての役割

### 3. 具体的な計画 (必須)

#### (1) 病床機能ごとの病床数

##### ① 平成 30 年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
① H30.7.1 時点	16	0	0	16	0	0	0	
② 2025 年	16	0	0	16	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0		

(うち非稼働…H30.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

##### ② 令和元年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
① R1.7.1 時点	16	0	0	16	0	0	0	
② 2025 年	16	0	0	16	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0		

(うち非稼働…R1.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

※令和元年(基準日)と2025年の病床機能が異なる場合(転換しようとする場合)には、その理由を記入してください。

[ ]

(2) 診療科の見直し

①令和元年時点の診療科:泌尿器科・人工透析

②令和元年時点と2025年で診療科の見直しがある場合は記入してください。

{ }

(3) 平成30年の診療実績等

病床稼働率	78.5
平均在院日数	79.0

4. 特記事項

医療機関名	本田レディースクリニック
-------	--------------

許可病床数	9床(うち一般9床、療養0床)
-------	-----------------

## 1. 現状

### <現状>

当地域女性のためのトータルケアを目指して患者さん一人一人を大切に、思いやりのある医療サービスを提供したいと日常診療に励んでいます。

入院患者さんは分娩・産褥期(経膈分娩・帝王切開分娩) 悪阻 切迫早産に限られています。(切迫流産は外来管理 流産手術は0泊1日の日帰り入院)

当院で取り扱う妊婦は正常 low risk の妊産婦さんが対象です。内科合併症妊娠や経過に問題のある妊婦さんは適切に抽出し、高次医療機関へ紹介しています。

### <他医療機関との連携実績>

- ・切迫早産や胎児異常等は NICU を併設する熊本大学病院 福田病院 (熊本市民病院)
- ・内科疾患等合併症を有する妊婦は熊大病院 水俣市立総合医療センター 熊本労災病院等へ紹介

### <診療実績>

	経膈分娩	帝王切開	硬膜外麻酔分娩	切迫早産	悪阻
平成 28 年	121 例	24 例	29 例	若干名	若干名
平成 29 年	143 例	28 例	30 例	若干名	若干名
平成 30 年	118 例	23 例	37 例	若干名	若干名

## 2. 地域において今後担うべき役割 (必須)

全国的な地方での人口減少、少子、高齢化は当地域でも例外ではなく、周産期医療を提供する医療機関は体制維持に厳しい状態が継続(加速)していくと想定されます。このことは当該地域の母子手帳の発行数、分娩実績からも明らかです。

水俣・芦北地域では水俣市立総合医療センターと当院との2施設で周産期医療を担っていますが、熊本県南 鹿児島県北の境界医療機関での妊産婦の流入、流出に加え 大病院、ブランド志向もあり他の地域への流出も相当数あるものと推定します。

上記の如く当院の置かれている立場は大変厳しいものですが、選ばれるクリニックとして地域の周産期医療に貢献していきたいと考えています。

(⑥本田レディースクリニック)

3. 具体的な計画 (必須)

(1) 病床機能ごとの病床数

① 平成 30 年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
①H30.7.1 時点	9	0	9	0	0	0	0	
②2025 年	9	0	9	0	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0		

(うち非稼働…H30.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

② 令和元年度病床機能報告

	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	うち非稼働	介護保険施設等へ移行
①R1.7.1 時点	9	0	9	0	0	0	0	
②2025 年	9	0	9	0	0	0		0
②-①	0	0	0	0	0	0		

(うち非稼働…R1.7.1 時点で休棟中で、かつ、過去 1 年間に病棟全体が非稼働である病棟の病床数)

※令和元年(基準日)と2025年の病床機能が異なる場合(転換しようとする場合)には、その理由を記入してください。

{ }

(2) 診療科の見直し

① 令和元年時点の診療科:産婦人科

② 令和元年時点と 2025 年で診療科の見直しがある場合は記入してください。

{ }

(3) 平成 30 年の診療実績等

病床稼働率	57.4
平均在院日数	5.9

4. 特記事項